

『サールナート(インド)野生司香雪の仏伝壁画保全』プロジェクト

世界の文化遺産、近代日本画の壁画を後世に！

初転法輪寺「釈尊一代記」第2・3期保存修理作業も無事終了しました！

- 壁画所在地 インド U.P州 ワーラナシー市 サールナート(鹿野園) 初転法輪寺(ムーラガンダークティー・ビハラー)
- 寺院管理団体 インド大善提会(マハボディ・ソサエティ オブ インディア、在コルカタ、明治24年～)
- 保存修理工期 令和4年11月27日から12月15日 ・作業内容 剥落止めと最小限の補彩色
- ・監修 木島隆康 東京藝術大学名誉教授 ・施工 (有)彩色設計 ※第2・3期(西・南各壁)
- 完成式典 令和4年12月16日(金) ●高精細画記録写真撮影 令和5年1月15日～22日



令和2年9月、香川県立ミュージアムで「野生司香雪とサールナートの仏伝壁画」展、写真展、フォーラムを開催。写真は大本山永平寺から借用した初転法輪寺壁画大下図の展示作業の様子

令和3年7月、「インド大使館(VCC)と共催で「聖地サールナートの仏伝壁画と野生司香雪展」、フォーラムを開催



最後の補彩色の作業「降魔成道」の魔女の部分



作業完了。おつかれさま。中央シーワリー師



令和4年12月16日 完成式典 大本山永平寺、インド大善大会の僧侶による法要



インド文化評議会(ICCR)サハスラブッテ会長(前列左端)が出席、花を添えてくださった。



As a Buddhist art historian, I have seen many murals in India, but the ones in Varanasi are truly special. They were created by a Japanese artist, and they have been fading away for decades. It is a great honor to be able to restore them and bring them back to life. The project was a collaboration between Japan and India, and it was a true testament to the power of art to bridge cultures and create lasting connections.



令和5年2月5日付のタイムズオブインディアに「日本から愛をこめて」の見出しで紹介された。



「兜率天」 「降誕」 「静観」
 「大施会」 「白象降下」 「四観」 「告別」
 「観相」

【南壁(正面入口壁面)】

「貧者の一灯」 おかげさまで募金は目標額を達成。ありがとうございました。



4億画素の高精細画の記録写真撮影。空気振動に大変敏感で深夜の撮影作業でした。



野生司香雪画伯顕彰会 香川県高松市出作町162-36 (株)イクタ内 TEL087-889-0330 URL:<https://nosu.info/>

- 後援 (公財)日印協会、(公財)中村元東方研究所、(学)淑徳学園、(学)武蔵野大学、インド大使館、香川県
- 協賛 (公財)仏教伝道協会 特別協力 (公財)文化財保護・芸術研究助成財団
- 協力 (株)トラベルサライ、(有)彩色設計、ディスカバー インディア クラブ (DIC)



「出城」

「五賢衆」

「太子阿羅々仙を訪ふ」

「降魔成道」

「鹿野園に於ける迎仏」

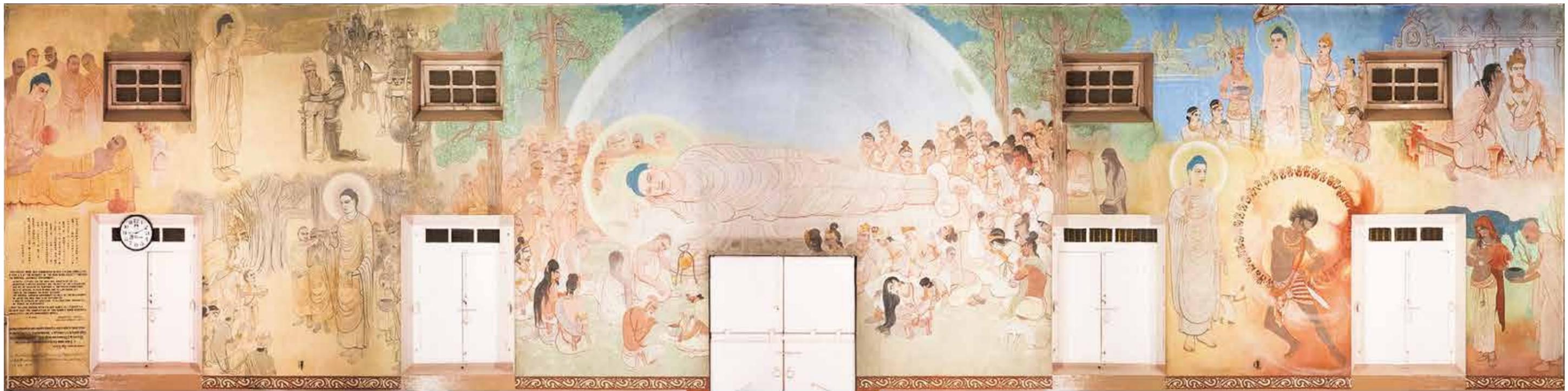
「祇園精舎の建立」

「浄飯王の寝殿」

「村女の供養」

「頻婆娑羅王の教化」

西壁



「仏陀病比丘を愛撫す」

「釋種二城人水利の争論」

「大涅槃」

「仏陀三十三天より降る」

「提婆達多阿闍世太子と謀る」

香雪自筆の「壁画銘記」
4ヶ国語で書かれている

「仏陀故国に入りて父子再会」

「指鬘外道」

「阿難と旃陀羅の乙女」

東壁